

3 コメ

(1) 国際的なコメ需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・バングラデシュ等で下方修正も、インド等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

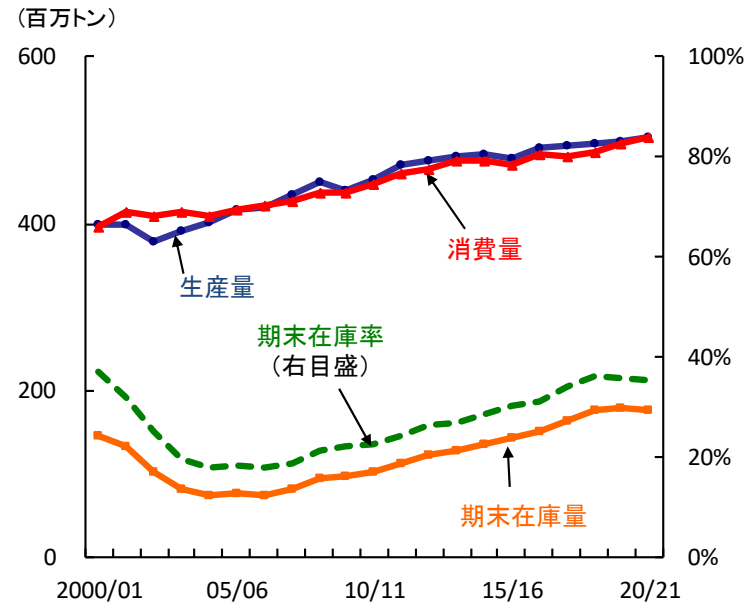
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・インド等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 —

- ・タイ等で下方修正も、インドで上方修正されたため、前月から変更はなし。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↓



資料：USDA「PS&D」（2020.3.9）をもとに農林水産省にて作成

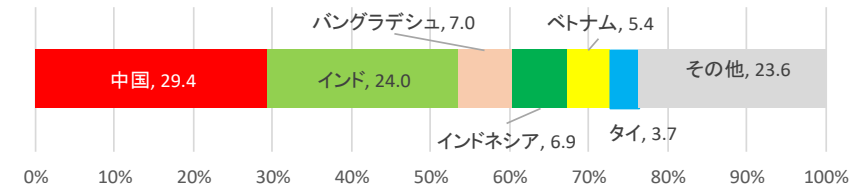
◎世界のコメ需給

（単位：百万精米トン）

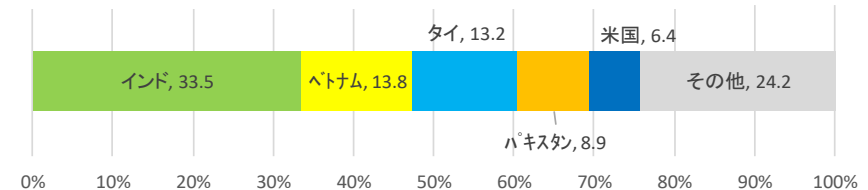
年 度	2018/19	2019/20 （見込み）	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率（%）
生産量	497.3	497.7	504.4	0.4	1.3
消費量	484.6	496.3	504.7	0.5	1.7
輸出量	43.9	43.0	46.3	—	7.7
輸入量	44.0	42.5	44.0	0.2	3.4
期末在庫量	176.7	178.1	177.8	▲ 0.3	▲ 0.2
期末在庫率	36.5%	35.9%	35.2%	▲ 0.1	▲ 0.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（9 March 2021）

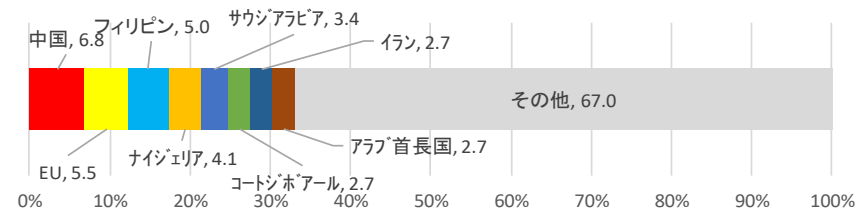
○ 2020/21年度 世界のコメの生産量（504.4 百万トン）（単位：%）



○ 2020/21年度 世界のコメの輸出量（46.3 百万トン）



○ 2020/21年度 世界のコメの輸入量（44.0 百万トン）



(2) 国別のコメの需給動向

< 米国 >

【生産動向】米国農務省（USDA）によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測から変更はなく、対前年度比 23.0%増の史上第 3 位となる 7.2 百万トンの見込み。このうち、中・短粒種の生産量は全体の約 25%を占める。

【貿易情報・その他】USDA によれば、消費量は前月予測から変更はなく、対前年度比 10.7%増の 5.1 百万トンの見込み。輸出量は前月予測から変更なく、前年度並の 3.0 百万トンの見込み。輸入量は、前月予測から変更はなく、対前年度比 3.4%減の 1.2 百万トンの見込み。

< インド >

【生育・生産動向】USDA によれば、2020/21 年度の実績は、モンスーンの降雨に恵まれ、史上最高の単収となり、対前年度 1.8%増の 121.0 百万トンの見込み。

インド東部・南部では、ラビ米の栄養成長期を迎えている。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、前月予測から上方修正され、対前年度比 0.5%増の 106.5 百万トンの見込み。

USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測から 0.5 百万トン上方修正され、対前年度比 24.1%増の史上最高の 15.5 百万トンとなる見込み。インド商工省によれば、2020 年 4 月から 12 月の輸出量累計は 11.6 百万トンで前年同期（6.4 百万トン）と比べ 1.8 倍。輸出量のうち 3.4 百万トンが高級品質のバスマティ米で、8.2 百万トンが非バスマティ米である。輸出量は、前年度対比でバスマティ米が 1.2 倍、非バスマティ米が 2.3 倍と双方とも増加しているが、非バスマティ米の伸びが大きい。とうもろこしの価格上昇から、飼料向けのコメの輸入需要が増加していることも背景にあるとみられる。

コメー米国

主に中・短粒はカリフォルニア、長粒はミシシッピ川沿いで栽培
カリフォルニア州の全米のコメ生産に占める生産シェアは約 2 割

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.1	5.9	7.2	-	23.0
消費量	4.6	4.6	5.1	-	10.7
輸出量	3.0	3.0	3.0	-	▲ 1.3
輸入量	0.9	1.2	1.2	-	▲ 3.4
期末在庫量	1.4	0.9	1.3	-	37.4
期末在庫率	18.8%	12.0%	15.6%	-	3.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.18	1.00	1.21	-	21.0
単収(もみt/ha)	8.62	8.38	8.54	-	1.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)

コメーインド

雨季をカリフ、乾季をラビと呼ぶ。北部はカリフ・ラビ(小麦)の二毛作、南部はカリフ・ラビの二期作。主にインディカを栽培

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	116.5	118.9	121.0 (120.0)	1.0	1.8
消費量	99.2	106.0	106.5 (105.1)	0.5	0.5
輸出量	10.4	12.5	15.5 (14.5)	0.5	24.1
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
期末在庫量	29.5	29.9	28.9 (28.4)	0.2	▲ 3.3
期末在庫率	26.9%	25.2%	23.7% (23.8%)	▲ 0.0	▲ 1.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	44.16	43.66	44.00 (44.35)	▲ 0.50	0.8
単収(もみt/ha)	3.96	4.08	4.13 (2.71)	0.08	1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)
IGC「Grain Market Report (25 February 2021)」(単収は精米t/ha)

< 中国 >

【生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測から変更はなく、対前年度比1.1%増の148.3百万トンの見込み。

2021/22年度産について、平年より気温が高く、華南地域では3月末には作付けが開始されている圃場もある。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測から変更はなく、対前年度比2.6%増の149.0百万トンの見込み。

USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から変更はなく、対前年度比7.7%減の2.4百万トンの見込み。

2020/21年度の輸入量は、0.2百万トン上方修正され、対前年度比15.4%増の3.0百万トンの見込み。

中国農業農村部の「農産品供需形勢分析月報」（2月）によれば、2月の早期インディカ、晩期インディカ、ジャポニカの卸売価格（精米）は、それぞれ3,820 元/トン（1月3,820 元/トン）、4,260 元/トン（同4,220 元/トン）、4,400 元/トン（同4,400 元/トン）。

春節の時期で精米工場の稼働率が低下していたが、流通在庫は充足しており、市場での売買は低調となっていることから、精米価格は大きな変動はない。

コメー中国

北部で一期作、南部で二期作。ジャポニカ(粳)米は東北地区、江蘇省等で栽培、生産シェアは3割程度

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	148.5	146.7	148.3	(148.3)	-	1.1
消 費 量	142.9	145.2	149.0	(147.6)	-	2.6
輸 出 量	2.8	2.6	2.4	(2.5)	-	▲ 7.7
輸 入 量	3.2	2.6	3.0	(2.5)	0.2	15.4
期末在庫量	115.0	116.5	116.4	(113.2)	0.2	▲ 0.1
期末在庫率	78.9%	78.8%	76.9%	(75.4%)	0.1	▲ 1.9
(参考)						
収穫面積(百万ha)	30.19	29.69	30.08	(30.15)	-	1.3
単収(もみt/ha)	7.03	7.06	7.04	(4.92)	-	▲ 0.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(9 March 2021)

IGC「Grain Market Report (25 February 2021)」(単収は精米t/ha)

< タイ >

【生育・生産動向】

USDAによれば、2019/20年度(2020年1月～同年12月)の生産量は、前月予測からの変更はなく、17.7百万トンと干ばつの影響で2018/19年度を12.3%下回る見込み。

2020/21年度(2021年1月～同年12月)の生産量は、前月予測からの変更はなく、対前年度比5.3%増の18.6百万トンの見込み。

タイ農業経済局によれば、2020年の収穫が終了した雨季作の生産量は、作付面積、単収とも増加することから前年度より5.2%増の25.3百万もみトンとなっている。

2021年収穫の乾季米の生育が進展し、収穫期を迎えている圃場もある。タイ農業協同組合省によると、ここ2年間、乾季の長期化や水不足から乾季米の作付面積、生産量は減少しており、2020/21年度の乾季米の生産量は、対前年度比で6.8%減の4.2百万もみトン(2019/20年度：4.6百万もみトン)となる見通し。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2019/20年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、5.7百万トンの見込み。

タイ米輸出協会によれば、2021年1月の輸出量は、前年同月から23.25%減少の42.1万トン。輸出先国は、カメルーン(6.2万トン)、米国(5.0万トン)、南アフリカ(4.7万トン)の順となっている。2020年の輸出量の減少に関し、輸出協会によると、バーツ高による輸出競争力の低下やコンテナ不足等が輸出量の減少の要因とみている。

USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から0.4百万トン下方修正され、対年度比6.8%増の6.1百万トンの見込み。なお、ベトナムの輸出量(6.4百万トン)を下回り、世界第3位のコメ輸出国となる見通し。サブ・サハラ諸国向けの輸出市場のシェアを価格競争力の高いインドに奪われたのが要因としている。

3月に入り、乾季作の新穀の出回りにより、タイ産米の輸出価格は下落したものの、ベトナム産米を上回っている(ベトナム 参照)。

USDA GAIN REPORT (2021.3.15)によれば、今後、近隣諸国のASFの影響からの回復によるとうもろこしより安価な碎米の飼料用需要が増加することから、2021年以降、輸出が徐々に回復するとみられている。

コメータイ

夏期の雨季作と冬期の乾季作で行われる。主にインディカを栽培

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	20.3	17.7	18.6 (18.7)	-	5.3	
消 費 量	11.8	12.3	12.4 (11.7)	0.2	0.8	
輸 出 量	7.6	5.7	6.1 (7.5)	▲ 0.4	6.8	
輸 入 量	0.3	0.3	0.2 (0.3)	-	▲ 20.0	
期末在庫量	4.1	4.0	4.3 (5.1)	▲ 0.1	7.5	
期末在庫率	21.1%	22.1%	23.1% (26.7%)	▲ 0.2	1.0	

(参考)

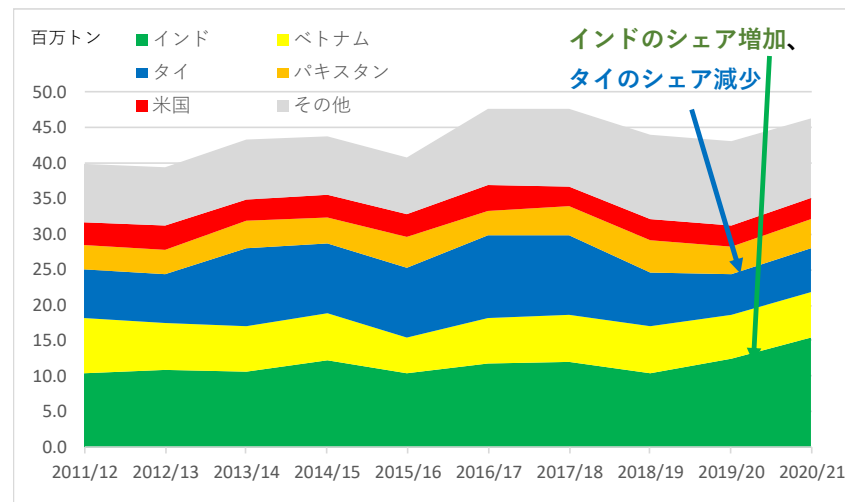
収穫面積(百万ha)	10.83	9.89	10.30 (10.30)	-	4.1
単収(もみt/ha)	2.85	2.70	2.74 (1.82)	-	1.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(9 March 2021)

IGC「Grain Market Report (25 February 2021)」(単収は精米t/ha)

図：世界のコメの主要輸出国の輸出量の推移



出典：USDA「PS&D」(2021.3)をもとに農林水産省で加工

<ベトナム>

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～2021年12月)の生産量は、前月予測から変更はなく、前年度と変わらず27.1百万トンの見込み。

現在、ベトナム北部の紅河デルタ、南部のメコンデルタで冬春作の生産が行われている。作付面積は2月中旬で260万ヘクタールとなっている。

北部では、作付面積は71万ヘクタールで、対前年度比88.2%と作付けが終盤を迎えている。寒気のため作付けが遅れた。

南部では、作付面積は189万ヘクタールで、対前年度比99.1%となっている。早植えの冬春作の生育状況は良好で、一部は、収穫期を迎えている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2019/20年度の輸出量は、前月予測から0.1百万トン上方修正され、6.2百万トンの見込み。また、2020/21年度の輸出量は、前月予測から変更はなく、対前年度比3.7%増の6.4百万トンの見込み。

ベトナム税関総局によれば、2021年2月のコメの輸出量は対前年度比70.6%の65.6万トン。輸出先国別にみると、フィリピンが最も多くシェアが4割近くを占め、以下中国、ガーナの順。中国向けの輸出量が前年度に比べ2.4倍と大きく増加した。

USDAによれば、ベトナムの3月のコメの輸出価格は、冬春作の市場への出回りとともにわずかに下落している。現地調査会社の情報によれば、前月と比較し、一般米で精米トン当たり5ドルから10ドル下落し、ジャスミンライスでトン当たり30ドル程度下落している。なお、前年同時期と比較すると、一般米で約1.3倍となっている。

コメーベトナム

北部で二期作、南部で二期作、三期作。主に長粒種、一部で短粒種も栽培

(単位: 百万精米トン)

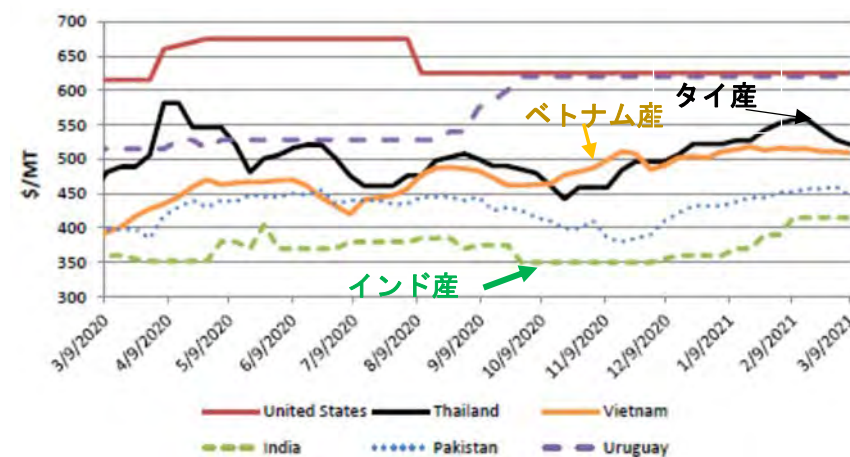
（単位：百万精米トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	27.3	27.1	27.1 (28.2)	-	-
消 費 量	21.2	21.3	21.3 (22.6)	-	-
輸 出 量	6.6	6.2	6.4 (6.5)	-	3.7
輸 入 量	0.5	0.4	0.5 (0.6)	-	25.0
期末在庫量	1.1	1.2	1.1 (2.9)	-	▲ 4.2
期末在庫率	4.0%	4.3%	4.1% (10.0%)	-	▲ 0.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.54	7.38	7.39 (7.47)	-	0.1
単収(もみt/ha)	5.80	5.88	5.87 (3.78)	-	▲ 0.2

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)
IGC 「Grain Market Report (25 February 2021)」 (単収は精米t/ha)

図: 長粒種のFOB価格の推移

3月上旬、タイ産は下落し、ベトナム産もわずかに下落



資料: USDA 「Grain: Markets and Trade」(2021.3.9)

Ⅱ 油糧種子 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・アルゼンチン等で下方修正も、ブラジル等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

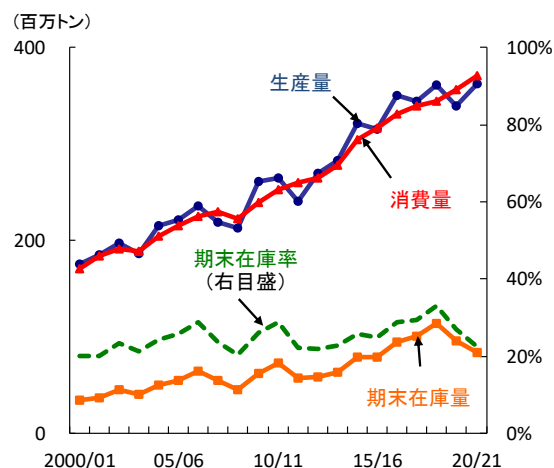
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・中国等で下方修正も、アルゼンチン、ブラジル等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出货量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・ウクライナ等で下方修正も、パラグアイ等で上方修正され、前月からわずかに上方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↑



資料：USDA「PS&D」（2021. 3. 9）をもとに農林水産省で作成

◎ 世界の大豆需給

（単位：百万トン）

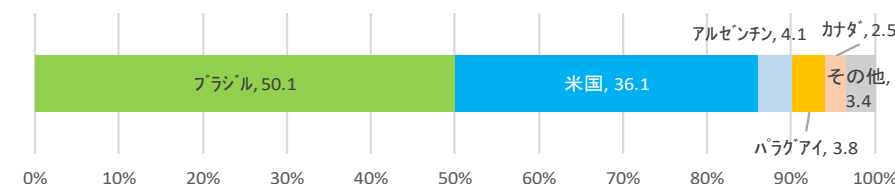
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測からの 変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	361.0	339.0	361.8	0.7	6.7
消 費 量	344.5	356.8	371.3	1.5	4.1
うち搾油用	298.7	311.3	323.6	1.6	4.0
輸 出 量	148.8	165.2	169.7	0.0	2.7
輸 入 量	145.8	165.3	166.9	▲ 0.1	1.0
期末在庫量	113.7	96.0	83.7	0.4	▲ 12.8
期末在庫率	33.0%	26.9%	22.6%	0.0	▲ 4.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（9 March 2021）

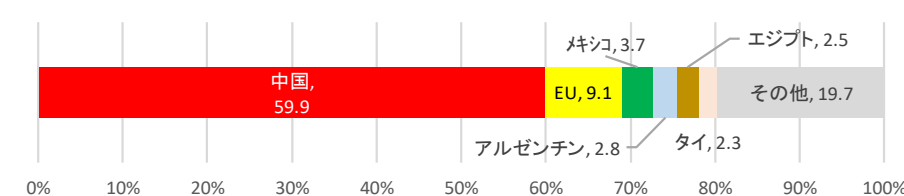
○ 2020/21 年度の世界の大豆の生産量 (361.8 百万トン) (単位：%)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸出货量 (169.7 百万トン)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸入量 (166.9 百万トン)



(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 16.4%増の 112.6 百万トンの見込み。前年 11 月末時点で、収穫は例年より早いペースでほぼ終了した。

【需要動向】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 2.5%増の 63.3 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 33.8%増の 61.2 百万トンと史上最高の見込み。

なお、輸出検証高（2021 年 1 月 7 日～3 月 4 日）は、13.5 百万トンであり、内訳は中国（7.0 百万トン）、メキシコ（0.9 百万トン）、エジプト（0.8 百万トン）、オランダ（0.7 百万トン）の順。

2020/21 年度の期末在庫量は、前年度より 77.2%減の 3.3 百万トンで、2013/14 年度以来の最低水準の見込み。

大豆－米国

(単位：百万トン)

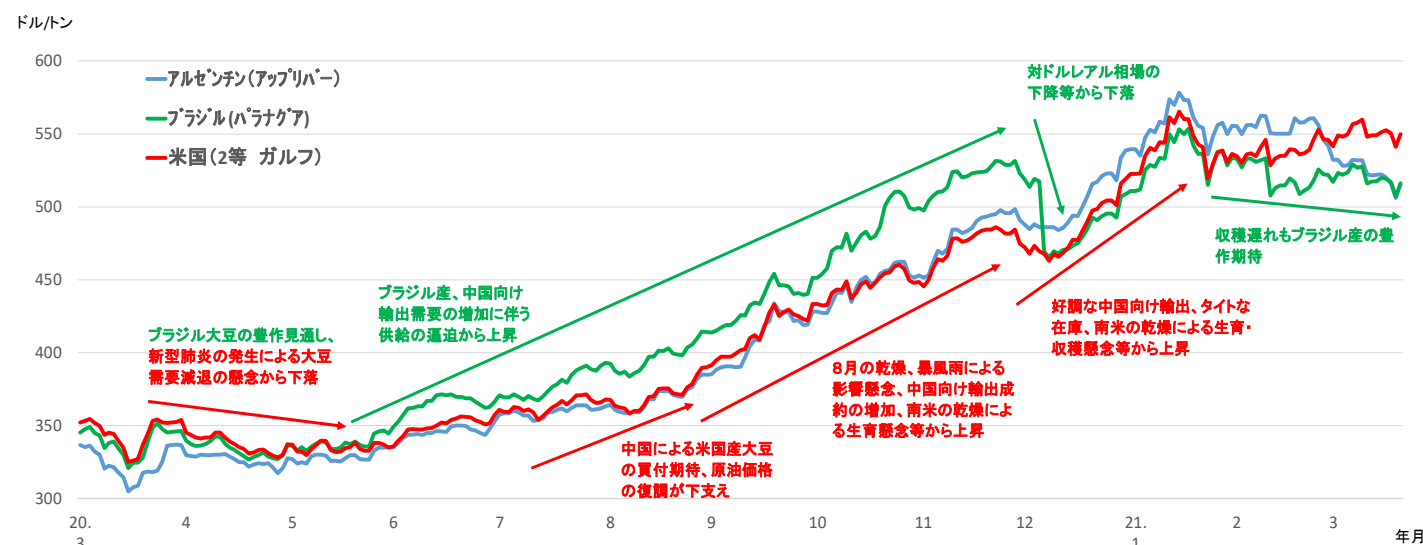
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	120.5	96.7	112.6	-	16.4
消 費 量	60.4	61.8	63.3	-	2.5
うち搾油用	56.9	58.9	59.9	-	1.6
輸 出 量	47.7	45.8	61.2	-	33.8
輸 入 量	0.4	0.4	1.0	-	126.2
期末在庫量	24.7	14.3	3.3	-	▲ 77.2
期末在庫率	22.9%	13.3%	2.6%	-	▲ 10.7

(参考)

収穫面積(百万ha)	35.45	30.33	33.31	-	9.8
単収(t/ha)	3.40	3.19	3.38	-	6.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)

図：米国、ブラジル、アルゼンチン大豆輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、リオグランデドスル州で前年12月から2月の降雨により作柄が大きく改善したことから前月予測から1.0百万トン上方修正され、前年度より4.3%増の134.0百万トンとなり、史上最高の見込み。

1月末から収穫が始まったが、雨がちな天候で収穫作業が進まず、3月19日現在の中西部マトグロッソ州の収穫率は92%。南部のリオグランデドスル州では3月18日現在で69%が開花期から結実期、収穫率は5%。

なお、ブラジル食料供給公社(CONAB)月例報告(2021.3.11)によれば、生産量は、降雨不足が生育に影響を与えたものの、前年12月から1月にかけて降雨により土壌水分の不足が改善されたことから前月予測から1.3百万トン上方修正され、前年度より8.2%増の135.1百万トンで史上最高の見込み。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、生産量の上方修正に伴い、搾油用消費量を中心に前月予測から1.1百万トン上方修正され、前年度より1.0%増の49.2百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、期首在庫の減少による供給量の制約から史上最大の輸出となった前年度より7.7%減の85.0百万トンの見込み。収穫遅延が大豆の積出にも影響し、荷受け待ちの船が港で滞船し、北部ではトラックが渋滞している。

ブラジル貿易統計によれば、収穫の遅れにより2021年1～2月の輸出量は2.9百万トンで、前年同期(6.2百万トン)に比べ53%減となっている。内訳は、1位が中国で2.1百万トン、2位がトルコで0.2百万トンとなっている。

ブラジルのクロップカレンダー(中部から南部)

2021年2月以降大豆の収穫が行われ、その後、一部圃場で冬とうもろこしを栽培。

2020/21年度	2020年												2021年								
	1月	...	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
夏とうもろこし	リオグランデドスル州等												収穫 23.5(百万t)								
	作付 4.3(百万ha)												収穫夏冬計 108.1百万t								
冬とうもろこし	作付面積夏冬計 19.5百万ha												作付 15.2(百万ha)								
	マトグロッソ州、パラナ州等												収穫 84.6(百万t)								
大豆	作付 38.5(百万ha)												大豆収穫後の一部圃場で冬とうもろこし播種								
													収穫 135.1(百万t)								

資料：CONAB穀物レポート(2021.3.11)

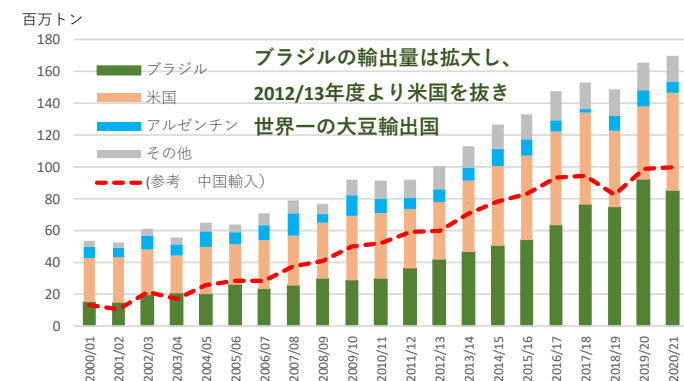
大豆—ブラジル

(単位：百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	119.7	128.5	134.0 (131.0)	1.0	4.3	
消費量	45.2	48.7	49.2 (…)	1.1	1.0	
うち搾油用	42.5	46.0	46.5 (…)	1.0	1.1	
輸出量	74.9	92.1	85.0 (…)	-	▲ 7.7	
輸入量	0.1	0.6	0.4 (…)	-	▲ 27.3	
期末在庫量	32.5	20.8	21.0 (…)	0.6	1.2	
期末在庫率	27.0%	14.7%	15.7% (…)	0.4	0.9	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	35.90	36.90	38.60 (40.20)	-	4.6	
単収(t/ha)	3.33	3.48	3.47 (3.26)	0.02	▲ 0.3	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

図：世界の大豆輸出国の輸出量の推移



資料：USDA「PS&D」(2021.3.9)のデータをもとに農林水産省にて作成

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、生育期の散発的な乾燥により前月予測から 0.5 百万トン下方修正され、前年度より 2.7%減の 47.5 百万トンの見込み。

ブエノスアイレス穀物取引所（2021.3.18）によれば、最近の降雨で高温・乾燥が続いていた大豆の主要産地の土壌水分不足が改善され、コルドバ州、サンタフェ州北部、ブエノスアイレス州中南部では特に降雨の恩恵を受けた。数週間後に収穫を迎える見込み。

【需給状況】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、前月予測から搾油用消費量が 1.2 百万トン上方修正され、前年度より 3.3%増の 47.4 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、中国向け輸出における米国、ブラジルとの競争の激化から、前年度より 30.0%減の 7.0 百万トンの見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2021 年 1 月の輸出量は 9,000 トンで、輸出可能な大豆がないため、前年同期より 94.3%減。内訳は、1 位がチリ 5,000 万トン、2 位がブラジル 800 トンとなっている。

アルゼンチンは、バイオディーゼル用大豆の搾油を行うため、大豆輸出量よりも、搾油後に発生する大豆加工品の輸出が多く、大豆粕については、世界第 1 位の輸出国であるが、最近是国内需要の伸びに伴い、輸出量は伸び悩んでいる。

アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019 年 12 月から 2020 年 3 月にかけて、大豆、大豆油、大豆粕の輸出税を約 25%から最大 33%へ引き上げた。2020 年 10 月 1 日に外貨準備高の増加を促進する目的で大豆関連商品の輸出税率の一時的な引き下げを発表し、10 月から 12 月まで引き下げられたものの、2021 年 1 月には最大 33%に戻り、輸出税は継続中。

写真：北部サンタフェ州の大豆圃場の風景

（2 月 28 日撮影）

前年 11 月中旬にやや遅れて作付けされ、生育は良好。

現在の生育ステージは乳熟期。収穫は 4 月後半の予定。



大豆ーアルゼンチン

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	55.3	48.8	47.5 (44.0)	▲ 0.5	▲ 2.7
消 費 量	47.5	45.9	47.4 (…)	1.2	3.3
うち搾油用	40.6	38.8	40.2 (…)	1.2	3.7
輸 出 量	9.1	10.0	7.0 (…)	-	▲ 30.0
輸 入 量	6.4	4.9	4.7 (…)	0.2	▲ 3.7
期末在庫量	28.9	26.7	24.5 (…)	▲ 1.5	▲ 8.2
期末在庫率	51.1%	47.8%	45.0% (…)	▲ 3.8	▲ 2.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.60	16.70	16.70 (16.25)	-	-
単収(t/ha)	3.33	2.92	2.84 (2.71)	▲ 0.03	▲ 2.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」
「World Agricultural Production」(9 March 2021)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

< 中国 >

【生産・生育状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より8.3%増の19.6百万トンで史上最高の見込み。前年11月上旬時点で、収穫は終了した。

【需給動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、春節の搾油量の落ち込みを反映し、前月予測から1.0百万トン下方修正されたものの、アフリカ豚熱の甚大な影響から養豚産業が回復し、養豚数の増加により大豆粕需要が高まることから、前年度より6.9%増の116.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸入量は、前月予測からの変更はなく、養豚産業の大豆粕需要の高まりにより前年度より1.5%増の100.0百万トンで史上最高の見込み。

中国財政部は、2020年2月14日に、米中通商協議一次合意に伴い、米国産大豆の追加関税30%のうち、2019年9月追加分の5%分を半減させ、追加関税を27.5%まで引き下げた。

中国の貿易統計によれば、2020年1～12月の輸入量は100.3百万トンと、前年同期比で13.3%増。内訳は、ブラジル産64.3百万トン（64%）、米国産25.9百万トン（26%）。なお、前年12月の輸入量は、米国産（5.8百万トン）がブラジル産（1.2百万トン）の5倍となった。

農業農村部「農産品供需形勢分析月報2月号」によると、2月、春節と元宵節が重なり、国内大豆市場は閑散期に入り、取引は活発ではなかった。供給側から見ると、新穀大豆は上場後価格が上昇を続けており、農家は今後の価格の上昇を見込んで、売却に消極的。需要側から見ると、リスクを回避するため、貿易商は主に在庫を販売し、市場で大量に購入せず、様子見感が強かった。2月の国内価格（山東省の国産大豆工場渡し価格）は引き続き上昇し、6,100元／トンで高水準である。一方、2月の国際価格（山東省の輸入大豆価格）は4,280元／トンと前月から横ばいで、内外価格差が拡大した。

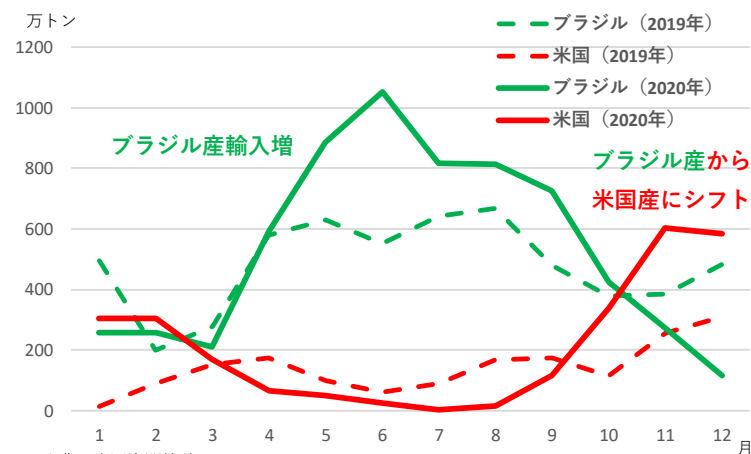
大豆－中国

(単位：百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、〇はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	16.0	18.1	19.6 (18.1)	-	8.3
消費量	102.0	109.2	116.7 (…)	▲ 1.0	6.9
うち搾油用	85.0	91.5	98.0 (…)	▲ 1.0	7.1
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (…)	-	11.1
輸 入 量	82.5	98.5	100.0 (…)	-	1.5
期末在庫量	19.5	26.8	29.6 (…)	1.0	10.4
期末在庫率	19.1%	24.5%	25.3% (…)	1.1	0.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.41	9.30	9.87 (9.45)	-	6.1
単収(t/ha)	1.90	1.95	1.99 (1.92)	-	2.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 March 2021)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

図：中国におけるブラジル・米国産大豆の輸入状況



出典：中国海關統計

注：2020年1月分と2月分は合計で公表されたため、便宜上1/2で按分

< カナダ >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、収穫面積は前年度より減少したものの、生育期の天候に恵まれ、単収は前年度より上昇したことから前年度より3.3%増の6.4百万トンの見込み。前年9月から10月にかけての温暖で乾燥した天候により、前年度より早く収穫が開始され、前年11月中旬時点で、ほぼ終了した。

なお、カナダ農務農産食品省（AAFC）（2021.3.18）によれば、2021/22年度の実産量は、カナダ西部では土壌水分不足の懸念や菜種等の競合作物も価格が魅力的なことから作付面積の増加は抑えられるものの、高い大豆価格に支えられ、主産地のカナダ東部を中心に作付面積が増加し、前年度より3.8%増の6.6百万トンの見込み。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より18.8%増の2.9百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より7.5%増の4.2百万トンの見込み。

カナダ穀物委員会（Canadian Grain Commission）によれば、2020/21年度（2020年8月～2021年7月）の2020年8月から2021年1月までの輸出量は325.6万トンで、国別では、イラン（66.0万トン）、イタリア（38.6万トン）、アルジェリア（35.6万トン）の順。

大豆－カナダ

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.4	6.1	6.4 (6.4)	－	3.3
消費量	3.3	2.5	2.9 (2.5)	－	18.8
うち搾油用	2.1	1.7	2.0 (1.9)	－	14.8
輸 出 量	5.3	3.9	4.2 (4.4)	－	7.5
輸 入 量	1.2	0.3	0.4 (0.4)	－	33.1
期末在庫量	0.7	0.7	0.3 (0.5)	－	▲ 61.9
期末在庫率	8.2%	11.3%	3.8% (7.3%)	－	▲ 7.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.54	2.27	2.04 (2.04)	－	▲ 10.1
単収(t/ha)	2.92	2.71	3.11 (3.12)	－	14.8

資料：USDA「PS&D」

「World Agricultural Production」(9 March 2021)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(18 March 2021)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2020/21年度)

	小麦	とうもろこし	コメ	大豆
米国	20年6月～21年5月	20年9月～21年8月	20年8月～21年7月	20年9月～21年8月
カナダ	20年8月～21年7月			20年8月～21年7月
豪州	20年10月～21年9月		21年3月～22年2月	
EU	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		
中国	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月
ロシア	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		20年9月～21年8月
ブラジル		21年3月～22年2月	21年4月～22年3月	20年10月～21年9月
アルゼンチン	20年12月～21年11月	21年3月～22年2月		20年10月～21年9月
タイ			21年1月～12月	
インド	20年4月～21年3月		20年10月～21年9月	
ベトナム			21年1月～12月	

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2020/21年度は、米国の小麦では2020年6月～2021年5月、ブラジルのとうもろこしでは2021年3月～2022年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads> (「Reference Data」タブを参照)

【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が 2021 年 3 月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下のとおりです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

英国については、2020年1月31日付けでEUを離脱しました。英国の小麦に関する情報についてはEUの小麦のコーナーで取り扱います。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL：03-6744-2368（直通）
------------	---